

平成 28 年度臨時福祉給付金および障害・遺族年金受給者向け給付金

確認じゃ！ 2つの給付金

■ 申請期間 ■

9月8日(木)～12月8日(木) 午前8時30分～午後5時(土・日・祝日を除く)
 郵送の場合は12月8日(木)消印有効

臨時福祉給付金
 イメージキャラクター
 カクニンジャ

臨時福祉給付金 支給対象者

平成28年度分の住民税が課税されていない方
 ただし、住民税課税者の扶養親族になっている方や、
 生活保護者の方などは除きます。

支給額

1人につき 3,000円

障害・遺族年金受給者向け給付金 支給対象者

平成28年度臨時福祉給付金の対象者で、
 平成28年度5月分の障害基礎年金・遺族年金等
 を受給している方
 ※高齢者向け給付金を受給した方は除きます。

支給額

1人につき 30,000円

支給はどちらの
 給付も1回です

1. 申請書の受領	平成28年1月1日時点で多古町に住居票があり、平成28年度住民税が非課税の方に申請書を郵送します。
2. 申請書の記入	申請書に必要事項を漏れなく記入してください。
3. 申請書の提出	申請受付期間中に保健福祉センターに提出または郵送してください。
4. 給付金の受取	支給要件を満たした方は、申請書に記載した指定口座に入金されます。

お問合せ ● 保健福祉課福祉係 ☎ 76-3185

特定健診を受診しましょう！

特定健診は心筋梗塞や脳卒中、糖尿病などの生活習慣病の**早期発見と予防**を目的に実施しています。早期発見が皆さんの健康維持と医療費の削減にもつながります。

忘れずに受診しましょう。

対象者 ● 40歳～74歳の多古町国民健康保険加入者
 今年度の対象者の方には、「特定健診受診券」を5月中旬に
 郵送しています。紛失された方は再交付します。

受診場所 ● 町内の健診委託医療機関

受診期限 ● 平成28年12月まで
 ※多古中央病院の胃がん検診登録者は
 病院より健診日をお知らせします。

受診料金 ● 40歳～69歳…1,000円 / 70歳以上…無料
 ※受診時は特定健診受診券、国民健康保険証をご持参ください。

お問合せ ● 住民課国保年金係 ☎ 76-5405



■ 生活習慣病とは

運動不足や食生活の乱れ、喫煙などといった体に良くない生活習慣の積み重ねによって引き起こされる、さまざまな病気(主として糖尿病・心臓病・脳卒中・高血圧症など)の「総称」です。これは、たいていの場合**自覚症状がないまま進行し**、症状が出るころには治療にかなりの時間とお金がかかることもあります。

症状が悪化していくに伴って大きくなる医療費は、皆さんの納める国民健康保険税で賄われているのです。

稲わらの適切な管理を — 台風が来る前に対策を —

稲刈りが終わると、田んぼに残るのが「稲わら」です。

台風などの大雨により、周辺一帯の稲わらが特定の田んぼに集まってしまい、所有者の方がその処理に大変困ってしまうという事態が生じる場合があります。

各田んぼの所有者あるいは耕作者の方は、稲刈りが終わりましたら、**すみやかに**適切な稲わらの処理をされますようご協力をお願いします。

【処理の一例】 ◆ そのまますき込んでしまう方法 など

お問合せ ● 産業経済課農業振興係 ☎ 76-5404
 生活環境課環境係 ☎ 76-5406



第98回全国高等学校野球選手権千葉大会は7月10日に開会式が行われ、170チームが甲子園への切符をかけ、熱戦を繰り広げました。多古高校は初戦で生浜高校と対戦し、10・2の7回コールドで勝利を飾るものの、続く2回戦で習志野高校と対戦し、0・3で惜しくも敗れました。習志野高校の応援に圧倒される中で、少人数でも力強い演奏を奏でる吹奏楽部や懸命に声援を送る多古高生の姿がありました。そこで今大会、野球部の応援団長として応援席をまとめあげた水上さんと初の女性団長として大役を果たした小川さんの2人に話を伺いました。



野球部応援団長
水上 僚太さん

■ 自分が出来る精一杯のサポート

最後の夏、グラウンドに立てなかったのは3年生で自分1人だけでした。この結果を受け止めるのは少し時間がかかりましたし、つらかった時もありました。ただ、試合の前日に仲間から連絡が入って、「応援団長はお前しかいないから。お前の声に励まされてるから」と言ってもらいました。その瞬間、団長は自分しか出来ないことなんだと改めて気づかせてもらえました。みんな出来る精一杯のサポートは、声を出して気持ちを伝えること、3年生含め試合に出ているメンバーに少しでも気持ちが伝わればという想いで役割に徹しました。

共に過ごした仲間には、「ありがとう」の言葉しかありません。これまでずっと足を引っ張ってきたんですけど、変わらずに「仲間」として見てくれましたし、迫屋先生も最後まで見届けてくれたので感謝の気持ちでいっぱいです。



生徒応援団長
小川 実咲さん

■ 気持ちを込めた全力エール

試合が始まってすぐに習志野高校の応援に圧倒されました。ただ、絶対に気持ちでは負けないという想いで応援に臨みました。今大会を迎えるまで、放課後などを利用して応援練習を行ってきましたが、全然まとまらなくて。でも、いざ本番になると団員の大半が大きな声を出していたんです。そのことにびっくりしましたし、それ以上に団長として嬉しかったです。試合終了後のエール交換は、泣きそうになるのをこらえて声を振り絞りました。

私がソフトテニス部で活動していた時に、コート脇を野球部のみんなが必死に走っている姿を見て、すごいと感じたことがありました。今までつらい練習を乗り越えてきたんだと思いますが、学校生活では常に笑顔で、そんな野球部員の姿が純粹にかっこよかったです。大会を終えて、「お疲れさま」と伝えたいです。

